

ごあいさつ

新型コロナウイルスの流行に続き、大雨被害も発生しています。被災した皆様に心よりお見舞い申し上げます。自然に対して一人ひとりの力は小さくても、皆で知恵を出し合えば大きな力になると考えています。どうか皆さんの声を聴かせて下さい。

今をよくする、未来へつなぐ。



6月議会一般質問

新卒者の就職支援 ～就職氷河期を繰り返さないように～



新型コロナは就職活動にも大きな影響を与えています。リーマンショック超えの不景気の可能性も示唆され、就職氷河期の再来が懸念されます。就職氷河期の影響を受けた世代が20年経った現在に中高年のひきこもり問題を抱えたり、経済的な安定を得られないなど、若者の就労は将来的に大きな問題となります。次世代を担う若者の雇用確保は将来の社会安定に繋がる施策なので、しっかりと対策する必要があります。

問 日本の強い経済力を維持するには、次の社会を担う人財を社会全体でどのように育成するかという視点が重要だと考えるが、若者の雇用に対する社会的な重要性と府が果たす役割をどのように認識していますか？

答 本格的な人口減少社会を迎える中、京都が世界に誇る文化・伝統を次代につないでいくためにも、若者の役割は大きい。第二の就職氷河期を作らないようにオンラインでの就職活動支援や、職を得られなかった若者に一定期間雇用し訓練を受けながら正規雇用につなげる京都未来塾事業を提案しています。

問 就職氷河期に、民・官共に就職採用を絞ったことが非正規雇用やひきこもりの一因となった。公共投資には民間の景気が冷え込んだ際の刺激策としての側面がある。来年の雇用は冷え込むことが予測されるので、人へ投資する公共事業の認識に立ち次年度の新卒採用を増やすべきと考えるが御所見は？

答 平成11～21年まで新卒採用を抑制していたため、職種や年齢構成に偏りが生じ効率的な執行体制に課題がある。長期的な視点に立ち、技術職員の積極的採用などを計画的に行っていく。今年は大卒程度の採用を134名行ったが、来年は200名に増やす予定。

問 大手の採用が絞られる時こそ、中小企業は人材確保の好機であるので、採用に前向きな中小企業と学生とのマッチング支援や採用活動への補助制度を行うてはいかがか？また、新規採用を行った中小企業への支援金を創設し若者の雇用を後押ししてはいかがか？

答 京都ジョブパークで中小企業へのWEBを活用した採用活動支援を開始しています。7月には有償インターンシップ相談窓口も開設する予定。既に民間の調査で就職内定率が下がるデータが出ており、更に厳しくなる予測もある。就職氷河期世代を作らないよう時期を逃さず施策を講じて参ります。

新型コロナウイルスへの避難所対応

まず、命を守る行動を！

全国でも大雨による被害が発生していますが、乙訓地域は水害に弱い地域でもあります。一方でたくさんの方が集まる避難所は疫病の感染リスクが高まることも否めません。しかし、感染を恐れるあまり避難しなかったことによって命を落としては元も子もありません。

京都府では、避難所運営における新型コロナウイルス感染症への対応マニュアル作成指針を策定し、各自治体と連携をしながら、新型コロナへの感染リスクを可能な限り下げられるよう取り組んでいます。

災害発生時は、まず目の前の危機を回避する避難を行って下さい。

▼京都府 マルチハザード情報提供システムへのQR



自分の住む場所にどんな危険が潜んでいるか示されます。

策定指針の中の避難所レイアウト(例) ▶ 詳細に事態を想定。



「自らの命は自らが守る」意識を持ち、適切な避難行動をとりましょう

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、**災害時には、危険な場所にいる人は避難することが原則です。**

知っておくべき5つのポイント

- 避難とは[難]を[避]けること。安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- 避難先は、小中学校・公民館ではありません。安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。
- マスク・消毒液・体温計が不足しています。できるだけ自ら携帯して下さい。
- 市町村が指定する避難場所、避難所が変更・増設されている可能性があります。災害時には市町村ホームページ等で確認して下さい。
- 豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認して下さい。

内閣府発行のチラシより